

広島県芸北町のカミキリムシ

宮川 和夫¹⁾・矢野 立志²⁾

¹⁾ 西中国山地自然史研究会, ²⁾ 広島県立広島観音高等学校

The Longicorn Beetles in Geihoku-cho, Hiroshima Prefecture

Kazuo MIYAGAWA¹⁾ and Ryuji YANO²⁾

¹⁾ Research Group of Natural History in Nishi-Chugoku Mountains, Geihoku-cho 731-2323

²⁾ Hiroshima Kan-on High School, Hiroshima 733-0034

Abstract: Combining the results of this survey with past published records, 160 species of longicorn beetles were found distributed in Geihoku-cho. One hundred and eighty one species are recorded in Togouchi-cho where the climate and vegetation resemble those of Geihoku, and a further 211 in Yoshiwa-mura. The fact that fewer species occur in Geihoku-cho can be explained by the nature of the topography which includes no deep gorges. However, further thorough investigation is needed.

As fifty species not yet found in Geihoku-cho have been reported in the adjacent areas. It may be expected that more species will be recorded here in the future.

© 1999 Geihoku-cho Board of Education. All rights reserved.

はじめに

これまでは芸北町にどのようなカミキリムシがいるのか、あるいは何種類生息しているかということは、よく判っていなかった。ただ、カミキリムシの幼虫や成虫が、各種の植物を食べることから類推し、植生豊かな芸北町には、多くの種類がいるだろうということは予想されていた。

そこで、1991年から宮川は、過去の文献を頼りに、伐採木や各種の花、あるいは夜間灯火に飛来するものを探し、写真撮影や採集により、100種類のカミキリムシを確認した。1997年より矢野が調査を引き継ぎ、広島虫の会の会員の協力も得て若干の種を追加した。

広島県内にはカミキリムシの研究者や、愛好者も多く、そうした方達が調査された成果が、関係誌に記載されている。それらの文献記録を加えると、現段階で県全体の約55%に当たる162種類が芸北町に生息していることがわかった。

しかし、この数字は環境の似ている近隣地域と比べると十分なものとは言い難い。今後多くの町民の方々と共に、年間を通して広く深く自然を見つめることで、より多くの種類が確認される

ものと確信している。

なお、この報文をまとめるにあたって、平素いろいろご指導に預かり、その上今回の標本についても同定の労を賜った上田恭一郎先生、小阪敏和先生、中村慎吾先生と、貴重な採集データの収集に協力していただいた杉山隆史氏、田上雅生氏、中崎清隆氏およびその他の多くの皆様や、標本写真の撮影などでお世話になった内藤順一氏に心から謝意を捧げたい。

芸北町産カミキリ目シ目録

芸北町のカミキリ目シについては、宮川（1994）がそれまでに判明していたものを、中間報告として速報した。宮川と矢野は、その後も調査を続け若干の新知見を得ることができた。本目録は中間報告を基にし、標本を紛失したもの、産地が間違っていたもの、誤同定であったものなどを削除し、その後の調査により明らかになった種を追加した。

なお、目録中の種について、近隣の町村や同じ西中国山地に属し気候や植生が似ており調査の進んでいる吉和村と比較した。その結果を箇条書きで示す。

1. 芸北町・戸河内町・吉和村の3町村で記録されているもの（共通種）125種。
2. 芸北町と戸河内町、若しくは、芸北町と吉和村で記録されているもの30種。
3. 芸北町では記録されているが、戸河内町と吉和村では未記録のもの7種を以下に記す。
カッコウメダカカミキリ（山県郡内では芸北町のみ）。
シロオビトラカミキリ（広島県内では芸北町のみ）。
ニイジマチビカニキリ（山県郡内では豊平町の記録もある）。
カラフトヒゲナガカミキリ（山県郡内では加計町と豊平町の記録もある）。
ヒメビロウドカミキリ（広島県内では芸北町のみ）。
ヤツボシシロカミキリ（山県郡内では筒賀村の記録もある）。
ケシカミキリ（山県郡内では加計町と筒賀村の記録もある）。
4. 芸北町では未確認であるが、戸河内町や吉和村で記録されているもの75種。
5. 芸北町では未確認であるが、隣接する町（広島県内）から記録されているもの50種。

表1 隣接する各町から記録されている芸北町未確認種の数

	大朝町	豊平町	戸河内町	隣接3町
記録されている種数	8	30	181	184
芸北町未確認種	1	6	49	50

(凡例)

科・亜科・種・亜種の配列と、和名や学名は、主として大林ほか（1992）に準拠したが、和名の亜種名については種名（亜種名）の順で記載した。

筆者のうち宮川の採集・撮影したものには、保護の観点から生息地を各地区名（図1）で示した。また、その個体数と年月日も〔 〕内に記入した。文献の記録を引用したものについては、

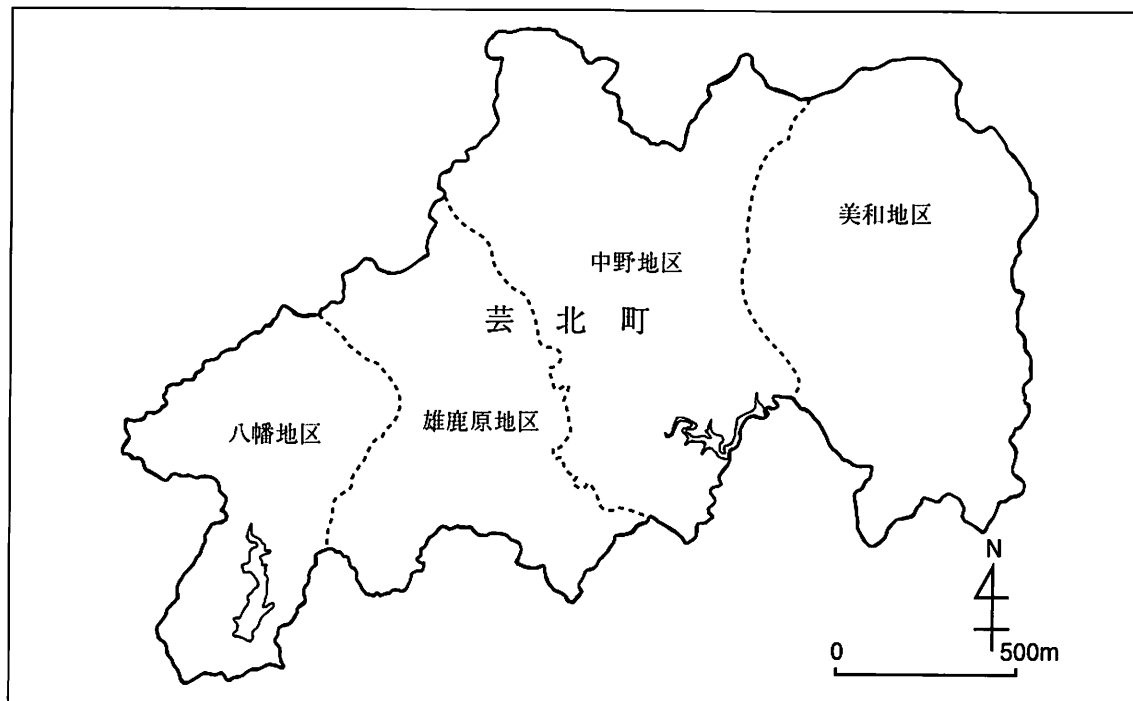


図1 芸北町の各区域

各地区名により整理すると、以後混乱を招く可能性があるので文献通りの地名で表わした。従って表記は、採集地（著者 報告年）とした。矢野は今後行われるであろう、種毎の分布地の集約に利用できるデータとなるよう、具体的な地名を記載した。

ホソカミキリムシ科 DISTENIIDAE

ホソカミキリ *Distenia gracilis gracilis* (BLESSIG)

八幡地区からの記録がある。灯火採集で普通に得られる。二川キャンプ場〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 臥竜山〔2個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月22日, 杉山採〕, 芸北町樽床 (秋山ほか 1996)

カミキリムシ科 CERAMBYCIDAE

ノコギリカミキリ亜科 PRIONINAE

ウスバカミキリ *Megopis sinica sinica* (WHITE) 図版4-A

八幡地区からの記録がある。幼虫は広葉樹の生木の枯死部に穿孔し、成虫は灯火に集まる。八幡地区〔1個体, 1995年8月2日, 宮川採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 八幡原 (晴山ほか 1959; 佐藤ほか 1966; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (小阪 1990)

ノコギリカミキリ *Prionus insularis insularis* MOTSCHULSKY 図版1-A

鳥しょ部から中国山地まで分布は広く、町内でもやや普通に見かけた。八幡地区〔1個体, 1991年7月31日〕, 中野地区〔1個体, 1993年8月12日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 臥竜山 (中村ほか 1988), 芸北町 (秋山ほか 1996), 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988)

コバネカミキリ *Psephactus remiger remiger* HAROLD

夕方薄暮時に活動するためか、記録は少ない。八幡地区からの記録が2例ある。臥竜山〔2個体、1997年7月31日、中崎採〕、芸北町（中村・小阪 1970；秋山ほか 1996）、臥竜山（中村ほか 1988；小阪 1988）、高岳（中村ほか 1988）

クロカミキリ亜科 SPONDYLINAE

クロカミキリ *Spondylis buprestoides* (LINNAEUS) 図版 1 - B

灯火に飛来した2個体を採集したが、他の場所でもやや普通に見かけた。臥竜山では、幼虫の食樹であるマツのない雪霊水前の灯火採集で得られた。雄鹿原地区〔1個体、1992年7月21日〕、中野地区〔1個体、1993年8月12日〕、臥竜山〔1個体、1997年7月31日、矢野採〕、芸北町（佐藤ほか 1966；中村ほか 1988；秋山ほか 1996）、才乙（秋山ほか 1996）

サビカミキリ *Arhopalus coreanus* (SHARP)

臥竜山の雪霊水前付近には幼虫の食樹であるマツが無いにもかかわらず、灯火採集により多くの個体が得られた。臥竜山〔5個体、1997年7月31日、矢野採〕、大谷〔1個体、1991年7月25日、田上採〕

ツシマムナクボカミキリ *Cephalallus unicolor* (GAHAN) 図版 3 - A

中野地区の1個体は灯火に飛来していたが、八幡地区の個体は地上を歩いていた。中野地区〔1♀、1992年7月23日〕、八幡地区〔1♂、1994年7月9日〕、大谷〔1個体、1991年7月25日、田上採〕、荒神（中村ほか 1988）

ハナカミキリ亜科 LEPTURINAE

ムナコブハナカミキリ *Xenophyrama purpureum* BATES

林縁の低木の葉上にいたものが採集されている。稀な種で、県内の記録も芸北町以外では、隣接する戸河内町だけで、町内の記録も八幡地区の2カ所にすぎない。掛頭山（山崎 1993；秋山ほか 1996）、臥竜山（田上 1995；秋山ほか 1996）

フタコブルリハナカミキリ *Stenocorus caeruleipennis* (BATES) 図版 4 - B

県内から記録は少ない。雄鹿原地区で撮影した個体は、たまたま上昇気流に乗って山頂へ吹き上げられたものであるとおもわれる。雄鹿原地区〔1個体、1990年7月6日〕、臥竜山〔2個体、1995年7月27日、田上採〕

モモグロハナカミキリ *Toxotinus reini* (HEYDEN) 図版 1 - C

林縁のイボタヤ、タンナサワフタギなどの低木や下草の葉上に見られた。雄鹿原地区〔2個体、1992年6月3日〕、大暮〔1個体、1997年6月8日、大川採〕、雲月山（中崎採、2個体、1995年6月24日）、滝の平牧場〔1個体、1997年6月14日、杉山採〕、掛頭山・八幡原（秋山ほか 1996）

テツイロハナカミキリ *Encyclops olivacea* BATES

県内の分布は北西部に限られており、これまで記録されているのは、芸北町・戸河内町・筒賀村・吉和村の4カ町村にすぎない。ナナカマド、ゴトウヅルの花から得られた。臥竜山（中村ほか 1988；小阪 1989；秋山ほか 1996）、掛頭山〔1個体、1993年6月20日、田上採〕、掛頭山〔1個体、1997年6月15日、矢野採〕、臥竜山〔1個体、1988年5月29日、中崎採〕、臥竜山〔3個体、

1997年6月1日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採]

フタスジカタビロハナカミキリ *Brachyta bifasciata japonica* (MATSUSHITA)

県内の分布は局地的で, 芸北町内では八幡地区から1例の報告がある。臥竜山〔5個体, 1995年5月28日; 4個体, 1996年6月26日, 中崎採〕, 臥竜山(中崎ほか 1984; 中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

カラカネハナカミキリ *Gauroles doris* BATES

ナナカマド, ミズキなどの花に見られた。町内には少ない。聖山〔1個体, 1996年7月20日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月1日; 1個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 臥竜山(中村ほか 1988; 小阪 1989; 秋山ほか 1996)

キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens* BATES 図版1-D

サクラ類やタンナサワフタギの花に集まっているものが見られた。雄鹿原地区〔1個体, 1992年6月3日〕, 掛頭山〔多数, 1992年5月10日, 田上採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月14日; 1個体, 1997年6月23日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1990; 秋山 1996)

ピックニセハムシハナカミキリ *L. rufithorax* PIC

前種とほぼ同じ時期に発生する, ナナカマドやサクラ類などの花上に多く見られた。掛頭山〔多数, 1992年5月10日, 田上採〕, 臥竜山〔1個体, 1988年5月29日, 中崎採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月1日; 3個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1988)

アカイロニセハムシハナカミキリ *L. nishimurai* SEKI 図版1-E

タンナサワフタギやナナカマドなどの花上に見られた。雄鹿原地区〔2個体, 1992年6月3日〕, 美和地区〔1個体, 1995年5月11日〕, 掛頭山〔1個体, 1993年6月20日, 田上採〕, 臥竜山〔2個体, 1988年5月29日, 中崎採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1990; 秋山ほか 1996)

ヒナルリハナカミキリ *Dinoptera minuta* (GEBLER) 図版1-F

ザイフリボク, サクラ, タンナサワフタギなどの花上に見られた。八幡地区〔1個体, 1992年5月22日〕, 美和地区〔1個体, 1995年5月11日〕, 掛頭山〔多数, 1992年5月10日, 田上採〕 サクラ類の花上, 臥竜山〔1個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1988)

ヤノヒメハナカミキリ *Pidonia chairo* TAMANUKI

従来はヒメハナカミキリ (*P. mutata*) といわれていた種で, 斉藤秀生が関東産の標本をもとにフトエリマキヒメハナカミキリ (*P. himehana*) と種名を変え, その後, 窪木幹夫が紀伊半島産の標本とタイプ標本をもとにヤノヒメハナカミキリ (*P. chairo*) とした種である。関東と紀伊半島のものは形態的にやや異なるので, 芸北町産のものは形態的・地理的に近いヤノヒメハナカミキリの名をあてるのが妥当と考えられる。県内では備北山地と芸北山地から記録されているが, 町内の分布は局地的である。臥竜山に多く, ナナカマド, タンナサワフタギなどの花に見られた。臥竜山(小阪 1988), 臥竜山〔1個体, 1988年5月29日, 中崎採〕, 臥竜山〔74個体, 1997年6月1日; 11個体, 1997年6月14日; 51個体, 1997年6月23日, 矢野採〕

ナガバヒメハナカミキリ *P. signifera* (BATES) 図版4-C

5月~6月頃, 林縁のコアジサイ, ガマズミ, ナナカマド, タンナサワフタギなどの花上に飛来していた。八幡地区〔1個体, 1992年5月22日〕, 掛頭山〔1個体, 1993年6月20日, 田上採〕,

臥竜山〔36個体, 1997年6月1日; 15個体, 1997年6月14日; 4個体, 1997年6月23日; 3個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 臥竜山(中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996; 秋山ほか 1996), 溝口(秋山ほか 1996)

キベリクロヒメハナカミキリ *P. discoidalis* PIC

ナナカマド, タンナサワフタギ, ゴトウヅルの花に見られた。臥竜山には多い。臥竜山(中村ほか 1988; 小阪 1988), 掛頭山〔1個体, 1993年6月20日, 田上採〕, 臥竜山〔46個体, 1997年6月1日; 2個体, 1997年6月14日; 7個体, 1997年6月23日; 1個体, 1997年6月29日, 矢野採〕
オオヒメハナカミキリ *P. grallatrix* (BATES)

県内の分布は広く, 芸北町内でも2カ所の生息地が報告されている。掛頭山(中村ほか 1988), 臥竜山(赤木 1987; 中村ほか 1988; 小阪 1988), 毛無山〔2個体, 1997年6月8日, 矢野採〕, 臥竜山〔8個体, 1997年6月14日; 7個体, 1997年6月23日; 1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕
チャイロヒメハナカミキリ *P. aegrota aegrota* (BATES) 図版1-G

ガマズミ類, タンナサワフタギ, ゴトウヅルなどの花に集まる。今回の調査中に目撃した *Pidonia* の中ではやや普通に見かけた。八幡地区〔3個体, 1992年5月22日〕, 雄鹿原地区・中野地区〔4個体, 1994年5月28日〕, 八幡地区〔1個体, 1994年6月9日〕, 毛無山〔2個体, 1997年6月8日, 矢野採〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月23日, 杉山採〕, 掛頭山〔2個体, 1997年6月15日, 矢野採〕, 臥竜山〔2個体, 1997年6月1日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月20日, 杉山採〕, 土草峠(秋山ほか 1996), 溝口(秋山ほか 1996), 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996)

フタオビヒメハナカミキリ *P. puziloi* (SOLSKY) 図版1-H

県内に広く分布しており, 芸北町内においても, 林縁のコアジサイ, ガマズミ, ヤマシャクヤクなど種々の花上で見かけた。八幡地区〔3個体, 1992年5月22日〕, 中野地区〔2個体, 1992年6月24日〕, 八幡地区〔1個体, 1996年7月4日〕, 毛無山〔3個体, 1997年6月8日, 矢野採〕, 掛頭山〔多数, 1992年5月10日, 田上採〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月23日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月1日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1988), 溝口(秋山ほか 1996), 大暮(秋山ほか 1996)

セスジヒメハナカミキリ *P. amentata amentata* (BATES) 図版3-I, 4-D

県内に広く分布し, 芸北町内でも各所で観察された。ガマズミ類, タンナサワフタギ, ゴトウヅルなどの花に見られた。八幡地区〔1個体, 1992年5月22日〕, 雄鹿原地区〔1個体, 1992年6月3日〕, 八幡地区〔1個体, 1996年6月12日〕, 毛無山〔矢野採, 7個体, 1997年6月8日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月1日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 掛頭山(中村ほか 1988), 臥竜山(中村ほか 1988; 小阪 1988), 溝口(秋山ほか 1996), 雲耕(秋山ほか 1996)

ニセヨコモンヒメハナカミキリ *P. simillima* OHBAYASHI et HAYASHI 図版1-I, J

臥竜山では, タンナサワフタギ, ゴトウヅルの花に多くの個体が見られた。毛無山〔1個体, 1997年6月8日, 矢野採〕, 掛頭山〔4個体, 1993年6月20日, 田上採〕, 臥竜山〔26個体, 1997年6月1日; 25個体, 1997年6月14日; 39個体, 1997年6月23日; 5個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996)

チビハナカミキリ *Alosterna chalybeella* (BATES)

県内の分布は局地的で、これまで、備北の高野町と、芸北山地の3町1村のみから記録されているにすぎない。芸北町内からは2例の記録がある。ナナカマドの花上に見られた。臥竜山〔1個体, 1997年6月1日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 臥竜山 (小阪 1988; 中村ほか 1988), 溝口 (秋山ほか 1996)

チャボハナカミキリ *Pseudalosterna misella* (BATES)

前種に比べると、県内の記録は多いが、芸北町では八幡地区からの1例のみである。ノリウツギ, タンナサワフタギなどの花上に見られた。掛頭山〔2個体, 1992年8月2日, 田上採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996)

ミヤマクロハナカミキリ *Anoploderomorpha excavata* (BATES)

ノリウツギなどの花上に見られた。掛頭山〔1個体, 1996年6月16日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月1日, 矢野採〕, 掛頭山 (中村ほか 1988), 臥竜山 (小阪 1988)

ルリハナカミキリ *A. cyanea* (GEBLER)

県内の分布は西部と北西部に限られており、これまで記録された場所は、府中町, 芸北町, 吉和村のみである。掛頭山〔1個体, 1996年6月23日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1996年7月28日, 中崎採〕, 掛頭山 (中村ほか 1988), 臥竜山 (田上 1995; 秋山ほか 1996)

ヘリウスハナカミキリ *Pyrrhona laeticolor laeticolor* BATES

本種は備北・芸北の両山地に分布し、記録もやや多いが、芸北町内では稀な種である。臥竜山 (小阪 1989; 秋山ほか 1996)

ヒゲブトハナカミキリ *Pachypidomia bodemeyeri* (PIC)

芸北山地の芸北町と吉和村のみから記録されている稀少種である。本種は冷温帯の巨木のある森林内の特定の環境にのみ生息しており、薬剤の噴霧により容易に採集できることから、絶滅の可能性がある。臥竜山 (中崎採, 1個体, 1996年7月28日; 5個体, 1997年7月31日), 臥竜山 (小阪 1990; 秋山ほか 1996)

ヤマトキモンハナカミキリ *Judolia japonica* (TAMANUKI)

県北西部に局地的な記録が見られるが、その生息地は少なく、芸北町内でも次の1例の記録のみである。掛頭山〔1個体, 1996年7月13日, 杉山採〕, 掛頭山 (赤木 1982; 秋山ほか 1996)

ヒメアカハナカミキリ *Brachyleptura pyrrha* (BATES)

県内の分布は備北と芸北の両山地に限られており普遍的ではない。ノリウツギの花に見られた。聖山〔1個体, 1996年7月21日, 杉山採〕, 臥竜山〔2個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 掛頭山 (中村ほか 1988), 臥竜山 (小阪 1988)

ツヤケシハナカミキリ *Anastrangalia scotodes* (BATES) 図版1-K

カンボク, イヌツゲの花上に見られた。東八幡原〔1個体, 1997年6月14日, 杉山採〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月23日, 杉山採〕, 掛頭山〔1個体, 1997年6月15日, 矢野採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月29日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月21日, 杉山採〕, 臥竜山 (小阪 1990; 中村 1993; 秋山ほか 1996), 八幡地区 (宮川 1993; 秋山ほか 1996)

アカハナカミキリ *Corymbia succedanea* (LEWIS) 図版 4 - E

マツ類を食樹としており、県内・町内共に分布は広く個体数も少なくない。雄鹿原地区〔2 個体, 1991年 6 月 29 日〕, 中野地区〔5 個体, 1991年 8 月 4 日〕, 中野地区〔1 個体, 1992年 7 月 21 日〕, 美和地区〔4 個体, 1993年 8 月 6 日〕, 大谷〔1 個体, 1991年 7 月 28 日, 田上採〕, 大暮(中村ほか 1988), 臥竜山(小阪 1990; 秋山ほか 1996)

ベニバハナカミキリ *Paranaspia anaspoides* (BATES)

芸北町以外では、同じ西中国山地の吉和村と瀬戸内海の宮島町で記録されている。ヒゲブトハナカミキリと同じ環境に生息している。臥竜山〔3 個体, 1995年 7 月 26 日, 中崎採〕, 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996)

ムネアカクロハナカミキリ *Leptura dimorpha* BATES 図版 3 - H, 4 - F

県内の分布は広く、芸北町内でも全地区で確認した。中野地区〔1 個体, 1991年 7 月 21 日〕, 雄鹿原地区〔1 個体, 1992年 6 月 3 日〕, 雄鹿原地区〔2 個体, 1994年 5 月 28 日〕, 美和地区〔3 個体, 1996年 7 月 4 日〕, 滝の平牧場〔1 個体, 1997年 6 月 29 日, 杉山採〕, 臥竜山(赤木 1990; 秋山ほか 1996), 溝口(秋山ほか 1996)

ツマグロハナカミキリ *L. modicenotata* PIC 図版 4 - G

本種はムネアカクロハナカミキリ同様分布が広く、山や畑の種々の花上に飛来していた。美和地区〔1 個体, 1992年 5 月 5 日; 1 個体, 1993年 8 月 6 日〕, 美和地区・中野地区〔2 個体, 1992年 6 月 24 日〕, 美和地区〔1 個体, 1995年 6 月 22 日〕, 臥竜山〔1 個体, 1997年 7 月 31 日, 矢野採〕, 聖山〔1 個体, 1996年 7 月 20 日, 杉山採〕, 臥竜山(小阪 1989, 1990; 秋山ほか 1996)

ヨツスジハナカミキリ *L. ochraceofasciata ochraceofasciata* (MOTSCHULSKY) 図版 4 - I, L

多種の広葉樹や針葉樹を食樹としており、県内・町内共に分布は広く、林縁の花や伐採木上など、多くの場所で見かけた。美和地区〔3 個体, 1990年 7 月 19 日〕, 中野地区〔1 個体, 1991年 8 月 4 日〕, 中野地区〔2 個体, 1992年 6 月 24 日〕, 美和地区〔1 個体, 1993年 8 月 6 日〕, 臥竜山〔2 個体, 1997年 7 月 31 日, 矢野採〕, 聖山〔1 個体, 1996年 7 月 20 日, 杉山採〕, 掛頭山〔1 個体, 1992年 8 月 2 日, 田上採〕, 臥竜山(小阪 1988), 八幡地区(小阪 1994; 秋山ほか 1996), 美和地区(秋山 1995; 秋山ほか 1996)

ハネビロハナカミキリ *L. latipennis* (MATSUSHITA)

県内では、主としてブナ林から記録されている。芸北町においては次の記録のみで、稀な種といえる。臥竜山(田上 1995; 秋山ほか 1996)

カタキハナカミキリ *Pedostrangalia femoralis* (MOTSCHULSKY)

県内の分布は局地的で、これまで 6 市町村にしか記録が見られず芸北町でも稀である。東八幡原〔1 個体, 1997年 6 月 14 日, 杉山採〕, 臥竜山〔1 個体, 1997年 6 月 14 日, 矢野採〕, 臥竜山(中村ほか 1988; 小阪 1988)

フタスジハナカミキリ *Nakanea vicaria* (BATES) 図版 1 - L

県内の分布は北西部に偏しており、南部や東部の記録は見られない。芸北町では八幡、雄鹿原の 2 地区で確認されている。雄鹿原地区〔3 個体, 1991年 8 月 4 日〕, 聖山〔1 個体, 1996年 7 月 20 日, 杉山採〕, 東八幡原〔1 個体, 1997年 8 月 2 日, 杉山採〕, 掛頭山(中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996), 聖湖畔(中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

オオヨツスジハナカミキリ *Macroleptura regalis* (BATES) 図版 1-M

県内多くの地で採集されているが、芸北町内の記録は見られない。今回の調査では伐採木にいた 1 個体を確認したが、1960年代に比べると減少している。ノリウツギの花やアカマツの伐採木に集まる。中野地区〔1♀, 1991年7月21日〕, 大谷〔1個体, 1991年7月28日, 田上採〕, 掛頭山〔1個体, 1992年8月2日, 田上採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月20日, 杉山採〕

オオクロハナカミキリ *M. thoracica* (CREUTZER)

県内の分布は極めて局限されており、記録に見られるのは、芸北町と吉和村のみで、今回の調査では確認できなかった。ブナなど広葉樹の立ち枯れに産卵のために飛来する。臥竜山 (小阪 1988)

カエデノヘリグロハナカミキリ *Eustrangalia distenioides* BATES

本種の県内分布は局地的で、西北部の芸北町・戸河内町・筒賀村・吉和村だけで記録されている。町内の記録は次の通りであるが、今回の調査では確認できなかった。臥竜山 (赤木 1990; 秋山ほか 1996)

ヒゲシロハナカミキリ *Japanostrangalia dentatipennis* (PIC)

前種よりも県内分布は広く、備北山地や宮島町での記録もある。ノリウツギの花に集まる。臥竜山 (小阪 1988), 掛頭山〔1個体, 1992年8月2日, 田上採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕

アオバホソハナカミキリ (ホンダアオバホソハナカミキリ) *Strangalomorpha tenuis aenescens* BATES 図版 1-N

山地の7町村から記録されている。芸北町では少ない。タンナサワフタギの花に集まる。八幡地区〔1個体, 1993年7月9日〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月23日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月1日; 1個体, 1997年6月14日, 矢野採〕, 掛頭山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996)

タテジマハナカミキリ *Parastrangalis shikokensis* (MATSUSHITA)

臥竜山の山頂付近のノリウツギの花に多く見られた。臥竜山〔8個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月, 杉山採〕, 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996) ニンフハナカミキリ *P. nymphula* (BATES) 図版 1-O

春季から夏季にかけて林縁の低木の花上で、普通に見かけた。雄鹿原地区〔1個体, 1991年8月4日〕, 中野地区〔多数, 1992年6月24日〕, 八幡地区〔3個体, 1992年7月31日〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月, 杉山採〕, 臥竜山〔3個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月, 杉山採〕, 掛頭山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996)

ミヤマホソハナカミキリ *Idiostrangalia contacta* (BATES)

県内の分布はそれほど広くなく、芸北町の場合も、次の1例の記録のみである。ノリウツギの花に見られた。大暮〔1個体, 1997年8月1日, 矢野目撃〕, 溝口 (秋山 1995; 秋山ほか 1996) ホソハナカミキリ *Leptostrangalia hosohana* (OHBAYASHI)

県内の分布は局地的で少ない。臥竜山では、日陰のタンナサワフタギの花に集まる。臥竜山〔3個体, 1997年6月23日, 矢野採〕, 八幡地区 (中村ほか 1988), 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪

1988; 秋山ほか 1996)

ホソコバネカミキリ亜科 NECYDALINAE

オオホソコバネカミキリ *Necydalis solida* BATES

県内の分布は極めて局地的で、芸北町と吉和村のみから記録されている。産卵のためにブナなどの立ち枯れに集まる。臥竜山 (小阪 1988, 1989; 秋山ほか 1996)

ヒゲシロホソコバネカミキリ *N. odai* HAYASHI

ミズナラの立ち枯れや倒木に産卵のために集まるが、臥竜山で多くのミズナラの立ち枯れを調べたが、脱出孔等を確認することはできなかった。吉和村では多くの個体が採集されているが、芸北町では非常に稀な種と思われる。臥竜山 (小阪 1996), 芸北 (藤村 1962; 秋山ほか 1996)

カミキリ亜科 CERAMBYCINAE

アオスジカミキリ *Xystrocera globosa* (OLIVIER) 図版 1-P

県内広くに分布しているが、芸北町内には少なく、夜間灯火に飛来した 1 個体を確認したのみである。美和地区 [1 個体, 1992年 7 月 23 日]

トビイロカミキリ *Allotraeus sphaerioninus* BATES 図版 1-Q

沿岸部から中国山地まで、県内の分布は広く、かなり多くの地域で採集されているが、芸北町内からの報告はなかった。ノリウツギやゴトウヅルの花に集まる。雄鹿原地区 [1 個体, 1992年 8 月 3 日], 掛頭山 [1 個体, 1992年 8 月 2 日, 田上採], 臥竜山 [1 個体, 1997年 6 月 23 日, 矢野採], 聖山 [1 個体, 1996年 7 月 21 日, 杉山採]

アメイロカミキリ *Stenodryas clavigera clavigera* BATES

前種と同じような分布で、県内広くに記録がある。臥竜山では、ゴトウヅルの枯れ蔓より羽化脱出した。臥竜山 [1 個体, 1988年 6 月 9 日, 中崎採], 掛頭山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

カッコウメダカカミキリ *Stenhomalus cleroides* BATES

芸北町以外の県内の記録は、蒲刈町や宮島町の島や沿岸部など、南部の地域が多い。長者原 (中村・小阪 1970; 秋山ほか 1996)

タイワンメダカカミキリ *S. taiwanus* MATSUSHITA

幼虫はサンショウやイヌザンショウなどの枯れ枝の樹皮下を食べ、辺材部に穿孔し、蛹になる。滝の平牧場、二川キャンプ場のイヌザンショウの枯れ枝に幼虫が見られた。滝の平牧場 [7 個体, 1997年 6 月 22 日, 中崎採]

トワダムモンメダカカミキリ *S. lighti* GRESSITT

幼虫はキブシやアブラチャン、アワブキなどの枯れ枝の樹皮下を食べ、辺材部に穿孔し蛹になる。備北山地では多いが、芸北山地では稀である。臥竜山 [1 個体, 1987年 5 月 31 日, 中崎採]

コジマヒゲナガコバネカミキリ *Glaphyra kojimai* (MATSUSHITA)

県内の分布は島から中国山地と広い。芸北町内ではナナカマドなどの花に集まり、カラコギカエデの枯れ枝より羽化脱出した。臥竜山 [矢野採, 1 個体, 1997年 6 月 1 日, 矢野採], 臥竜山 [1 個体, 1987年 5 月 31 日, 中崎採], 臥竜山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

ホタルカミキリ *Dere thoracica* WHITE 図版 3-K, 4-J

ネムノキの枯れ枝を食樹としており、県内広くに分布している。低標高の地では普通に見られるが、芸北町ではこれまで発見されていなかった。美和地区〔2 個体, 1992 年 6 月 9 日〕

クスベニカミキリ *Pyrestes nipponicus* HAYASHI 図版 1-R

沿岸部から中国山地まで広く分布しているが、芸北町の記録はそれほど多くはない。ノリウツギの花に集まる。雄鹿原地区〔1 個体, 1996 年 7 月 4 日〕, 聖山〔1 個体, 1994 年 7 月 22 日, 杉山採〕, 才乙 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 掛頭山 (宮川 1961; 中村・小阪 1970; 中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

ルリボシカミキリ *Rosalia batesi* HAROLD 図版 4-K

県内の分布は西中国山地に偏している。1980 年頃に芸北町内の製材所の貯木場では多数の個体が見られたが、近年個体数は激減している。二川キャンプ場のハンノキの立ち枯れより羽化脱出した。八幡地区〔1 個体, 1991 年 6 月 18 日〕, 中野地区〔5 個体, 1992 年 8 月 6 日〕, 長者原・臥竜山 (中村ほか 1988)

ミドリカミキリ *Chloridolum viride* (THOMSON)

1960 年代には、八幡洞門付近のノリウツギの花上でよく見かけたが、今回の調査では 1 個体も見なかった。掛頭山・臥竜山 (中村ほか 1988)

アオカミキリ *Schwarzerium quadricollis* (BATES)

ノリウツギの花に集まる。やや稀な種で芸北町の記録は少ない。臥竜山〔1 個体, 1998 年 7 月, 相田採〕, 樽床 (秋山ほか 1996)

ベニカミキリ *Purpuricenus temminckii* (GUÉRIN-MÉNEVILLE) 図版 1-S, 図版 3-B, 4-H

幼虫が枯れ竹を穿孔食害するカミキリなので、竹の少ない山地部では少ない。そのためか、これまで芸北町の記録に洩れていた。芸北町では、他地域で採集されない前胸背の黒い小形の個体が採集されている。八幡地区〔1 個体, 1992 年 5 月 19 日〕, 八幡地区〔1 個体, 1992 年 5 月 22 日〕, 美和地区〔2 個体, 1992 年 6 月 9 日〕, 雄鹿原地区〔1 個体, 1995 年 6 月 22 日〕, 毛無山〔1 個体, 1997 年 6 月 8 日, 矢野採〕

ヒメスギカミキリ *Callidiellum rufipenne* MOTSCHULSKY

杉の伐採木上に普通に見られた。大谷〔多数, 1991 年 7 月 28 日, 田上採〕

チャイロホソヒラタカカミキリ *Phymatodes testaceus* (LINNAEUS) 図版 1-T

県内にはかなり多くの生息地が記録されているが、芸北町においては、今回確認した疎林の中のクモの網にかかっていたものが初記録になる。雲月山では、県境から島根県側に数十メートル入ったところのナラ類の伐採枝に集まっていたものが採集されており、雲月山の広島側にも生息していると考えられる。美和地区〔1 個体, 1991 年 7 月 4 日〕

アカネカミキリ *P. maaki* (KRAATE)

幼虫はブドウ類の枯れ蔓に穿孔している。県内では瀬戸内の島から山地まで分布しているが、記録は少ない。芸北町の場合も次の 1 例のみである。臥竜山 (小阪 1989; 秋山ほか 1996)

シロオビチビヒラタカミキリ *P. albicinctus* BATES

ヤマブドウの枯れ蔓より多数が羽化脱出した。臥竜山〔多数, 1997 年 5 月 10 日, 田上採〕

クビアカトラカミキリ *Xylotrechus rufilius* BATES

広葉樹の伐採木に集まる。芸北町においては次の1カ所の記録のみである。荒神（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）

ニイジマトラカミキリ *X. emaciatus* BATES 図版4-M, N

種々の広葉樹の伐採木に集まる。ウスイロトラカミキリや、エグリトラカミキリに比べると、個体数は少なかったが、キスジトラカミキリよりも多く見かけた。中野地区〔3個体, 1991年7月13日；7月30日〕, 中野地区〔2個体, 1991年7月21日〕, 大谷〔多数, 1991年7月28日, 田上採〕, 掛頭山（宮川 1961；中村ほか 1988；秋山ほか 1996）, 臥竜山（小阪 1988；秋山ほか 1996）

ウスイロトラカミキリ *X. cuneipennis* (KRAATZ) 図版3-G, 4-O

県内では低山から山地に広く分布している。今回の調査でも伐採木のある場所の多くで見かけた。中野地区〔1個体, 1991年7月30日〕, 中野地区〔1個体, 1992年7月21日〕, 雄鹿原地区・中野地区〔3個体, 1992年7月23日〕, 大谷〔1個体, 1991年7月28日, 田上採〕, 荒神（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）, 臥竜山（中村ほか 1988；小阪 1988；秋山ほか 1996）, 掛頭山（宮川 1991；秋山ほか 1996）

ムネマダラトラカミキリ *X. grayii grayii* (WHITE)

幼虫はカンボクの立枯れの樹皮や樹皮下を食べ、材部に穿孔し蛹室を作る。4月に蛹室内にいた成虫を採集した。千町原〔1個体, 1995年4月1日, 矢野採〕

アカネトラカミキリ *Brachyelytus singularis* KRAATZ

ヤマブドウの枯れ蔓中の新成虫を採集した。臥竜山〔多数, 1997年4月29日, 田上採〕

キスジトラカミキリ *Cyrtoclytus caproides caproides* BATES 図版2-A

県内の分布は広く生息地も多く記録されている。臥竜山山頂のノリウツギの花には多数の個体が見られた。美和地区〔1個体, 1991年7月4日〕, 美和地区〔1個体, 1991年7月16日〕, 中野地区〔1個体, 1992年7月26日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 臥竜山（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）, 大暮（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）, 芸北町（中村・小阪 1970；秋山ほか 1996）

シラケトラカミキリ *Clytus melaenus* BATES

県内各地に記録は多い。ナラ類などの広葉樹の伐採枝に集まる。美和地区〔1個体, 1991年7月4日〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月23日, 杉山採〕, 二川キャンプ場〔1個体, 1997年6月29日, 矢野採〕, 荒神（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）, 掛頭山（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）

シロオビトラカミキリ *C. raddensis* PIC

県内で記録されているのは芸北町だけという稀種である。最初の報告以後、生息が確認されておらず、薪などによる移入の可能性も考えられる。芸北町（中村・小阪 1970；中村ほか 1988；秋山ほか 1996）

キンケトラカミキリ *C. auripilis* BATES 図版2-B

分布は局地的で記録も少ない。芸北町では未記録であったが、今回の調査で八幡地区で生息することを確認した。ケヤキを食樹としており、他地区でもケヤキの多い河川沿いや民家の周辺などに分布していると考えられる。八幡地区〔2個体, 1992年5月19日〕

クリストフコトラカミキリ *Plagionotus christophi* (KRAATZ)

県内では主として山地域に分布し、記録は多くない。今回の調査では確認できなかったが、芸北町内にも次の記録がある。細見 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (CHEVROLAT) 図版 4 - P

県内の分布は広く、芸北町内でも各地で普通に見かけた。ノリウツギの花や伐採枝に集まる。八幡地区 [5 個体, 1991年 7 月 20日], 中野地区 [3 個体, 1991年 7 月 21日], 中野地区 [多数, 1991年 7 月 21日], 中野地区 [2 個体, 1991年 7 月 30日], 掛頭山 [3 個体, 1992年 8 月 2日, 田上採], 聖山 [1 個体, 1996年 7 月 20日, 杉山採], 臥竜山 (小阪 1988)

クロトラカミキリ *C. diadema inhirsutus* (MATSUSHITA)

県内には、西城町・比和町・神石町・福富町・芸北町・戸河内町の記録が見られるが、稀な種である。芸北町内では次の記録がある。掛頭山 (赤木 1982; 秋山ほか 1996)

ホソトラカミキリ *Rhaphuma xenisca* BATES

県内広くに分布しているが、記録はそれほど多くはない。芸北町内の記録も少ない。聖山 [1 個体, 1996年 7 月 22日, 杉山採], 聖湖 (中村ほか 1988)

ヒメクロトラカミキリ *R. diminuta diminuta* (BATES)

県内の分布は広く記録も多いが、芸北町では 1 例の記録しかない。大谷 (秋山ほか 1996)

カンボウトラカミキリ (フトオビカンボウトラカミキリ) *Hayashiclytus acutivittis inscriptus* (BATES)

県内の分布は極めて限られており、西中国山地の芸北町・戸河内町・吉和村の 2 町 1 村のみで記録されている稀な種である。臥竜山 (小阪 1989; 秋山ほか 1996)

トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* BATES 図版 2 - D

県内の分布は広く記録も多いが、芸北町での記録は少ない。普通種であるため、報告されないことが多いのではないかと思われる。八幡地区 [1 個体, 1994年 6 月 9日], 掛頭山 [1 個体, 1996年 6 月 23日, 杉山採], 臥竜山 (小阪 1988)

シロトラカミキリ *Paraclytus excultus* BATES 図版 2 - C

内陸部から中国山地にかけて記録があり、県内の分布はかなり広い。芸北町にも生息しているが、個体数はそれほど多くはない。ナナカマド、カエデ類等の花に集まる。八幡地区 [3 個体, 1992年 5 月 19日], 八幡地区 [1 個体, 1994年 7 月 9日], 掛頭山 [1 個体, 1996年 6 月 23日, 杉山採], 臥竜山 [1 個体, 1997年 6 月 14日, 矢野採], 才乙 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (小阪 1989; 秋山ほか 1996)

マツシタトラカミキリ *Anaglyptus matsushitai* HAYASHI

県内にはかなり多くの生息地が記録されているが、広島市安佐北区布と廿日市市極楽寺を除くと山地部の記録である。聖山 [1 個体, 1996年 7 月 21日, 杉山採], 掛頭山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996)

フトカミキリ亜科 LAMIINAE

ゴマフカミキリ *Mesosa japonica* BATES 図版 4 - Q

県内広くに分布しており、芸北町内においても、伐採木のある場所のほとんどで見かけた。中

野地区〔2個体, 1991年7月21日〕, 中野地区〔3個体, 1992年7月21日〕, 美和地区〔1個体, 1992年7月23日〕, 八幡地区〔1個体, 1996年7月4日〕, 穴(赤木 1979; 中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996)

カタシロゴマフカミキリ *M. hirsuta hirsuta* BATES 図版5-A

県南部から北部まで分布は広いが, 芸北町内では前種に比べ, 生息地も個体数も少ない. 中野地区〔1個体, 1991年7月21日〕, 雄鹿原地区〔1個体, 1991年8月4日〕, 中野地区〔2個体, 1992年7月21日〕, 荒神(中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山(中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

ナガゴマフカミキリ *M. longipennis* BATES 図版5-B

落葉広葉樹の伐採木のある場所で確認した. 中野地区〔2個体, 1991年8月4日〕, 中野地区〔2個体, 1992年7月21日〕, 雄鹿原地区〔1個体, 1996年7月7日〕, 大谷〔1個体, 1991年7月28日, 田上採〕, 臥竜山(小阪 1996)

タテスジゴマフカミキリ *M. senilis* BATES

県内に広く分布しているが, いずれの地でも多くない. 大谷〔1個体, 1991年7月28日, 田上採〕, 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996)

シナノクロフカミキリ *Asaperda agapanthina* (BATES)

県内の分布は備北と芸北の両山地に限られており, 芸北町内の既知記録も次の2例のみである. 掛頭山(中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 臥竜山(小阪 1996)

キクスイモドキカミキリ *A. rufipes* BATES 図版5-C

県内の分布は広く記録も多いが, 芸北町内の記録は多くない. 臥竜山(小阪 1988; 秋山ほか 1996), 掛頭山(中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 溝口(秋山ほか 1996)

シロオビチビカミキリ *Sybra subfasciata subfasciata* (BATES) 図版2-M

広葉樹の伐採枝に普通に見られる. 中野地区〔1個体, 1991年8月4日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1996)

タテジマカミキリ *Aulaconotus pachypezoides* THOMSON

同じ西中国山地に位置する吉和村では, 1951年に益田高校の生徒によって発見されていたが, 芸北町においても最近になって下記の通り確認された. 溝口(秋山ほか 1996)

ハスオビヒゲナガカミキリ *Cleptomelopus bimaculatus* (BATES)

県内広くに分布するが記録は少ない. 芸北町においても1例記録があるが, 詳細は不明である. 芸北町溝口(香川 1988; 秋山ほか 1996)

ドウボンカミキリ *Pseudocalamobius japonicus japonicus* (BATES)

県内に広く分布しているが, 多くない. 枯れ枝の叩網で得た. 臥竜山〔1個体, 1997年6月23日, 矢野採〕, 臥竜山(小阪 1996)

ニイジマチビカミキリ *Egesina bifasciana bifasciana* (MATSUSHITA)

低山から山地部に広く分布しているが, 少ない. 大谷〔1個体, 1995年6月25日, 田上採〕

マルモンサビカミキリ *Pterolophia angusta* (BATES)

県内広く分布しているが, 記録はそれほど多くない. 芸北町内の記録も次の1例のみである. 掛頭山(秋山ほか 1996)

アトジロサビカミキリ *P. zonata* (BATES) 図版 2 - N

県内の分布は広く記録も多いが、芸北町内の記録は多くない。二川キャンプ場〔1 個体, 1997 年 6 月 29 日, 矢野採〕, 中野地区〔1 個体, 1991 年 8 月 4 日〕, 八幡地区 (小阪 1988; 秋山ほか 1996)

クリサビカミキリ *P. castaneivora* OHBAYASHI et HAYASHI

県内の分布は局地的であるが、芸北町内においても既知生息地は 2 カ所にすぎない。大谷 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 掛頭山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

エゾサビカミキリ *P. tsurugiana* (MATSUSHITA) 図版 2 - L

前種に比べると芸北町内の生息地はやや多い。ホオノキ枯れ枝より羽化脱出した。中野地区〔1 個体, 1991 年 7 月 21 日〕, 臥竜山〔1 個体, 1988 年 6 月 3 日, 中崎採〕, 臥竜山 (小阪ほか 1976; 小阪 1988; 秋山ほか 1996), 雲月山 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996), 大谷 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

トガリシロオビサビカミキリ *P. caudata caudata* (BATES) 図版 3 - E, 5 - D

県内広くに分布し記録も多い。芸北町内においても、今回確認した 2 カ所を加えると 3 地区の生息地が判明した。雄鹿原地区〔1 個体, 1991 年 7 月 13 日〕, 美和地区〔1 個体, 1992 年 7 月 23 日〕, 臥竜山 (小阪 1988; 秋山ほか 1996)

アトモンサビカミキリ *P. gramulata* (MOTSCHULSKY)

県内広くに分布している。芸北町内の記録は 1 カ所であるが、今回の調査で 2 カ所を追加できた。八幡地区〔1 個体, 1991 年 7 月 20 日〕, 中野地区〔1 個体, 1991 年 8 月 4 日〕, 芸北町 (中村ほか 1988; 秋山ほか 1996)

ナカジロサビカミキリ *P. jugosa jugosa* (BATES)

前記 2 種と同じように県内の分布は広く、記録も多いが、芸北町の場合は次の記録のみである。臥竜山 (小阪 1988; 秋山ほか 1996)

クワサビカミキリ *Mesosella simiola* BATES 図版 3 - J, 5 - E

県内の分布は広く、記録も多いが、芸北町ではこれまで未記録であった。中野地区〔1 個体, 1991 年 7 月 21 日; 1 個体, 同年 7 月 30 日〕

セダカコブヤハズカミキリ (ダイセンセダカコブヤハズカミキリ) *Parechthistatus gibber daisen* MIYAKE et TSUJI

県内に不連続に分布している。ブナ科の樹林の多い芸北町内には記録も多い。亜種名を *daisen* としたが、翅端の刺が発達せず、鳥取県の大山産とは形態的にやや異なっている。臥竜山 (中崎採, 5 個体, 1995 年 6 月 10 日), 臥竜山〔1 個体, 1997 年 6 月 14 日, 杉山採〕, 臥竜山 (岩本 1989; 小阪 1990; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (岩本 1989; 秋山ほか 1996), 阿佐山 (岩本 1989; 秋山ほか 1996), 天狗石山 (岩本 1989; 秋山ほか 1996)

イタヤカミキリ *Mecynippus pubicornis* BATES

県内広くに分布しているが記録はそれほど多くない。芸北町内の記録も次の 1 例のみである。臥竜山 (小阪ほか 1976; 秋山ほか 1996)

カラフトヒゲナガカミキリ *Monochamus saltuarius* (GEBLER)

アカマツの衰弱木を食害し、県内では沿岸部から山地までの広範囲に分布している。芸北町内

の記録は次の1例のみである。臥竜山（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）

ヒメヒゲナガカミキリ *M. subfasciatus subfasciatus* (BATES) 図版 5 - F

県内の分布は広く多くの記録がある。芸北町内でも全町域で確認した。中野地区〔1個体, 1991年8月4日〕, 雄鹿原地区〔1個体, 1991年8月4日〕, 中野地区〔1個体, 1993年8月12日〕, 美和地区〔1個体, 1996年6月4日〕, 八幡地区〔1個体, 1996年7月1日〕, 滝の平牧場〔1個体, 1997年6月14日, 杉山採〕, 亀山（秋山ほか 1996）, 中祖（秋山ほか 1996）

ゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* (THOMSON) 図版 5 - G

県内の分布は広く、記録も多いが、近年あまり目撃していない。中野地区〔1個体, 1991年7月11日〕, 八幡地区〔1個体, 1993年9月5日〕, 臥竜山（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）

センノキカミキリ *Acalolepta luxuriosa luxuriosa* (BATES)

県内各地の記録がある。ハリギリ, コシアブラ, タラノキなどを食樹とし、広範囲に分布していると考えられる。芸北町内においては記録は少ない。掛頭山（宮川 1961；秋山ほか 1996）, 臥竜山（小阪 1996）

ビロウドカミキリ *A. fraudatrix fraudatrix* (BATES)

沿岸部から中国山地までの記録がある。夜行性で薪や灯火に集まる。臥竜山〔3個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 芸北町（中村・小阪 1970；秋山ほか 1996）, 臥竜山（小阪 1996）

ニセビロウドカミキリ *A. sejuncta sejuncta* (BATES) 図版 2 - K

県内の記録は前種よりもやや少ないが、県内に広く分布している。芸北町では次のように4カ所で生息が確認された。中野地区〔1個体, 1991年7月13日〕, 八幡地区〔1個体, 1993年9月5日〕, 芸北町（中村・小阪 1970；秋山ほか 1996）, 臥竜山（小阪 1996）

ヒメビロウドカミキリ *A. degenera* (BATES)

雲月山の記録が県内で唯一のものである。その後、何度も調査を行ったが、再発見はされていない。雲月山には、本種の食草のオトコヨモギが多く生えているが、栄養不足のためか細く低いものばかりで、本種の繁殖には適さない状態になっている。雲月山（小島・林 1969；秋山ほか 1996）

ヤハズカミキリ *Uraecha bimaculata bimaculata* THOMSON 図版 3 - C, 5 - H

県内の分布は広く、記録も少なくないが、芸北町の記録は少ない。美和地区〔1個体, 1992年6月24日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月15日, 杉山採〕, 穴（赤木 1982；秋山ほか 1996）

ヨコヤマヒゲナガカミキリ *Dolichoprosopus yokoyamai* (GRESSITT)

中国山地に局地的に分布しており、これまでに記録のあるのは、高野町・比和町・芸北町・戸河内町・吉和村にすぎない。毛無山ではブナの幹の根際部分に多くの脱出孔が見られた。臥竜山には食樹のブナが多く生えているが、幹の根際に脱出孔は見られず、多くの研究家の度重なる調査によっても生息は確認されていない。毛無山〔1個体, 1997年8月1日, 藤井直樹採〕, 王泊（宮川 1961；中村ほか 1988）, 才乙（宮川 1964；秋山ほか 1996）, 南門原（宮川 1967；秋山ほか 1996）

チャボヒゲナガカミキリ *Xenicotela pardalina* (BATES)

町内に広く分布しているが、記録は少ない。滝の平牧場〔1個体, 1997年6月14日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 掛頭山（宮川 1961；秋山ほか 1996）

クワカミキリ *Apriona japonica* THOMSON 図版2-J

県内には、南部の島しょ部から中国山地まで広い地域で記録されている。近年、南部から丘陵帯では分布を広げているキボシカミキリに生態的地位を奪われ、個体数が減少している。芸北町内の記録は1例のみである。八幡地区〔1個体、1993年9月5日〕

シロスジカミキリ *Batocera lineolata* CHEVROLAT 図版2-I

県内広くに分布し、以前は庭や畑のイチジクの木近くでよく見かけた。八幡地区の個体は、コナラ・クヌギの疎林の中にいた。また、未発表であるが土橋で灯火に飛来したものが採集されている。八幡地区〔1個体、1993年8月13日〕、芸北町（佐藤ほか 1966；秋山ほか 1996）

ヒゲナガゴマフカミキリ *Palimna liturata* (BATES) 図版5-L

県内・町内共に記録は多くない。ブナ林とその周辺に分布しており、町内では、二川キャンプ場のハンノキの立ち枯れ材より羽化脱出した。八幡地区〔1個体、1990年7月11日〕、臥竜山〔1個体、1997年8月2日、杉山採〕、掛頭山（宮川 1961；秋山ほか 1996）、臥竜山（中村ほか 1988；小阪 1988；秋山ほか 1996）

ヤツボシシロカミキリ *Olenecamptus octopustulatus* (MOTSCHULSKY)

県内では、高野町と芸北町と筒賀村の3町村でしか生息が確認されていない。ズミを食樹としており、長者原のズミの伐採枝より羽化脱出した。町内の分布は局地的なようで、二川キャンプ場や千町原のズミの枯れ枝からは羽化脱出しない。臥竜山〔4個体、1995年6月3～6日、羽化脱出、中崎採〕、八幡原（赤木 1990；中崎・岩本 1990；秋山ほか 1996）

ヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciatus* BLESSIG

県内広くに分布し記録も多いが、芸北町内では1例の記録のみである。臥竜山（小阪 1988；秋山ほか 1996）

フタモンアラゲカミキリ *R. maculatus* BATES

県内に広く分布するが記録は少ない。ゴトウヅル枯れ蔓より羽化脱出した。臥竜山〔1個体、1988年6月15日、中崎採〕

フタオビアラゲカミキリ *Arhopaloscelis bifasciatus* (KRAATZ)

県内の記録を見ると、内陸部の低標高地の記録も見られるが、記録の多くは中国山地である。町内では臥竜山にのみ記録がある。ゴトウヅル枯れ蔓やサワグルミの枯れ枝より羽化脱出した。臥竜山〔1個体、1988年6月6日、中崎採〕、臥竜山（中村ほか 1988；秋山ほか 1996）、臥竜山（小阪 1996）

クモノスモンサビカミキリ *Graphidessa venata venata* BATES

県南部の広島市安佐南区から中国山地の高野町や芸北町まで分布は広い。成虫は晩秋まで見られる。ミズキの枯れ枝より9月に羽化脱出した。臥竜山〔8個体、1988年9月、中崎採〕、臥竜山（赤木 1982；角島・岩本 1975；秋山ほか 1996）

チビコブカミキリ *Miccolamia verrucosa* BATES

備北山地と芸北山地に局地的な記録がある。芸北町内にも次の記録がある。臥竜山〔1個体、1988年5月29日、中崎採〕、臥竜山（赤木・岩本 1984；赤木 1986；秋山ほか 1996）

シロチビコブカミキリ *M. palurae* TAKAKUWA et N. OHBAYASHI

県内に広く分布するが記録は少ない。町内では、タンナサワフタギの細い枯れ枝に普通に見ら

れた。毛無山〔2個体, 1997年6月8日, 矢野採〕, 臥竜山〔1個体, 1988年5月29日, 中崎採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月14日; 4個体, 1997年6月23日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月21日, 杉山採〕, 掛頭山(赤木 1986; 秋山ほか 1996), 臥竜山(赤木 1986; 小阪 1988)

ドイカミキリ *Mimectatina divaricata divaricata* (BATES)

県内の分布は広く, 内陸部から中国山地まで記録されている。今回の調査では確認できなかったが, 芸北町内には次の記録がある。臥竜山(赤木 1990; 秋山ほか 1996)

ネジロカミキリ *Pogonocherus seminiveus* BATES

本種の分布は県西部に偏しており, 高野町の1例を除くと他は西部ないしは北西部である。稀な種で, 芸北町内の記録も1例のみである。才乙(中村ほか 1988)

ゴマダラモモブトカミキリ *Leiopus stillatus* (BATES)

県内では山地に広く分布している。長者原のコナラ, クヌギなどの枯れ枝より羽化脱出した。臥竜山(小阪 1988)

トゲバカミキリ *Rondibilis saperdina* (BATES)

県内の分布はかなり広く, 芸北町内でも2カ所で確認されている。臥竜山〔2個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 掛頭山(中村ほか 1988), 臥竜山(小阪 1988)

ホウノキトゲバカミキリ *Rondibilis sapporensis* (MATSUSHITA)

県内の分布は山地部に限られ, 高野町, 油木町, 吉和村の記録がある。ホオノキの枯れ枝より羽化脱出した。臥竜山〔1個体, 1988年6月10日, 中崎採〕

キッコウモンケシカミキリ *Exocentrus testudineus* MATSUSHITA

県内の記録は山地部に偏る。ゴトウヅルの枯れ蔓より羽化脱出した。臥竜山〔2個体, 1988年6月15日, 中崎採〕

ガロアケシカミキリ *E. galloisi* MATSUSHITA

県内に広く分布し, 記録も多いが, 芸北町内の記録は少ない。大谷〔1個体, 1991年7月28日, 田上採〕, 掛頭山(中村ほか 1988)

アトモンマルケシカミキリ *E. lineatus* BATES 図版2-H

県内の分布は, 南部の島しょ部から北部山地まで広く, 記録も多いが, 芸北町ではこれまで未記録であった。八幡地区〔1個体, 1991年7月20日〕, 中野地区〔1個体, 1991年8月4日〕

ケシカミキリ *Sciades tonsus* (BATES)

アカマツの細い枯れ枝に本種の脱出孔がよく見られ, 県内に広く分布するものと思われるが, 記録は多くない。芸北町内の記録は次の1例のみである。臥竜山(岩本ほか 1978; 秋山ほか 1996)

ムネモンヤツボシカミキリ *Saperda tetrastigma* BATES

サルナシの枯れ蔓より羽化脱出した。臥竜山〔15個体, 1995年5月28日, 中崎採〕, 臥竜山〔1個体, 1993年6月6日, 田上採〕

ヤツメカミキリ *Eutetrappa ocelota* (BATES)

沿岸部から中国山地まで分布は広い, 二川キャンプ場と千町原のズミの立ち枯れの根際の部分より羽化脱出した。荒神(中村ほか 1988)

ハンノアオカミキリ (ハンノオオルリカミキリ) *E. chrysochloris chrysargyrea* BATES

備北・芸北の両山地に記録が見られる。シナノキの倒木の直径5～8cmの枯れ枝より羽化脱出した。また、灯火にもよく集まる。臥竜山〔1個体, 1997年7月31日; 1個体, 1998年8月21日, 矢野採〕, 雲月山 (中村ほか 1988), 臥竜山 (小阪 1990; 秋山ほか 1996)

フチグロヤツボシカミキリ *Pareuletrapha eximia* (BATES)

本種も山地で記録されているが, 芸北町内の記録は少ない。ホオノキの倒木より羽化脱出した。大谷〔2個体, 1991年7月25日, 田上採〕, 臥竜山〔1個体, 1995年5月28日, 中崎採〕, 芸北町 (中村・小阪 1970; 秋山ほか 1996), 臥竜山 (角島・岩本 1975; 小阪 1990; 秋山ほか 1996)

ニセシラホシカミキリ *P. simulans* (BATES) 図版3-D, 5-I

県内・町内共に分布は広く記録も多い。成虫はタンナサワフタギ, サワフタギ, ナツツバキなどの葉を線状に食べる。美和地区〔1個体, 1991年7月4日〕, 美和地区〔1個体, 1991年7月16日〕, 中野地区〔1個体, 1991年7月13日〕, 中野地区〔1個体, 1991年7月21日〕, 雲月山〔1個体, 1995年6月24日, 中崎採〕, 掛頭山〔1個体, 1996年6月13日, 杉山採〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 聖山〔1個体, 1996年7月21日, 杉山採〕, 臥竜山 (小阪 1988), 雲月山 (中村・小阪 1970; 秋山ほか 1996), 溝口 (秋山ほか 1996)

ハンノキカミキリ *Cagosima sanguinolenta* THOMSON

県内の分布は局地的で, 記録も西部の沿岸部や山地にある。芸北町内には少ない。芸北町 (香川 1988; 秋山ほか 1996), 雲月山 (赤木 1993; 秋山ほか 1996)

ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* (SAUNDERS) 図版5-J

県内に広く分布する。長者原ではシナノキの倒木の直径5～8cmの枯れ枝より羽化脱出した。本種は, 沿岸部ではカラムシ, 山地ではシナノキに依存している。雄鹿原地区〔1個体, 1989年6月20日; 2個体, 1996年7月4日〕, 雲月山〔1個体, 1993年6月27日, 中崎採〕

キモンカミキリ *Menesia sulphurata* (GEBLER)

備北と芸北の両山地とその周辺部で記録されているが, 芸北町内では多くない。サワグルミを食樹としている。東八幡原〔1個体, 1997年6月14日, 杉山採〕, 臥竜山 (中村ほか 1988)

M. sp

前種より一回り小形で触角が黒く, 前胸背の斑紋が異なる点で区別できる。幼虫の生態も異なり, 幼虫の食樹は, 前種がサワグルミ, ヤマハゼなどで, 本種はミズキ, サワグルミの枯れ木である。幼虫は樹皮下を食べ, 辺材部に穿孔し蛹室をつくる。蛹室の形状なども2種間で明らかに異なる。臥竜山〔多数, 1988年5月16日～6月10日, 中崎採, 羽化脱出〕, 臥竜山 (小阪 1996)

また, 臥竜山ではヌルデの立ち枯れから, 本種や前種とは異なるものが羽化脱出している。

ジュウニキボシカミキリ *Paramenesia theaphia* (BATES)

県内の分布は局地的で, 芸北町内でも最近確認された稀少種である。ハリギリを食樹としている。臥竜山 (田上 1995; 秋山ほか 1996)

イッシキキモンカミキリ *Glenea centroguttata* FAIRMAIRE

成虫はヤマグワの葉の葉脈を線状に食べ, ヌルデの衰弱木に産卵する。人為的な環境に生えるヌルデを食樹とするためか, 近年分布域を広げている。県北の7町村から記録があるが, 芸北町では稀である。芸北町 (香川 1988; 秋山ほか 1996)

シラホシカミキリ *G. relicta relicta* PASCOE 図版5-K

沿岸部から中国山地まで広く分布しており記録も多いが、芸北町内の記録は少ない。美和地区〔1個体, 1991年7月4日〕, 中野地区〔2個体, 1991年7月13日〕, 雄鹿原地区〔2個体, 1992年6月29日〕, 大谷〔1個体, 1991年7月28日, 田上採〕, 臥竜山 (小阪 1988)

セミスジニセリンゴカミキリ *Eumecocera trivittata* (BREUNING)

県内の分布は局地的で記録も少ない。芸北町内でも最近確認された種である。臥竜山では灯火に飛来した。臥竜山〔1個体, 1998年7月11日, 松原久美採〕, 臥竜山 (田上 1995; 秋山ほか 1996)

ヒゲナガシラホシカミキリ *E. argyrosticta* (BATES)

県内は、西城町・芸北町・吉和村から記録されている。芸北町内では稀少種である。未発表であるが芸北町の町境に近い、戸河内町内でも採集している。臥竜山〔1個体, 1997年7月31日, 矢野採〕, 臥竜山 (小阪 1988)

クロニセリンゴカミキリ *E. unicolor* (KANO)

県内では山地部に分布している。前種よりもやや多く、灯火採集でよく得られる。臥竜山〔1個体, 1998年7月11日, 松原久美採〕, 八幡地区 (中村ほか 1988), 臥竜山 (小阪 1988)

チチブニセリンゴカミキリ (コジマベニスジカミキリ) *Niponostenostola niponensis pterocaryai* HAYASHI

県内の記録は少なく、町内の記録も下記の1例がある。高野町での観察では、幼虫はサワグルミの湿った材の樹皮や樹皮下を食べ、穿孔し蛹室を作る。芸北町 (中崎ほか 1980; 秋山ほか 1996)

キクスイカミキリ *Phytoecia rufiventris* GAUTIER 図版5-M

県内の分布は沿岸部から中国山地まで広い。草原のカミキリで、キク科を食害することで知られているが、芸北町内でも近年記録されるようになった。雄鹿原地区〔2個体, 1991年7月25日〕, 雲月山〔1個体, 1995年6月25日, 田上採〕, 臥竜山 (小阪 1988)

ヨツキボシカミキリ *Epiglenea comes comes* BATES 図版2-F

幼虫はヌルデの立ち枯れの樹皮及び樹皮下を食べる。県内では普通種であるためかえって記録が少ない。芸北町内では八幡地区と中野地区だけで発見されている。中野地区〔1個体, 1996年7月1日〕, 中野地区〔1個体, 1996年7月29日〕, 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1989; 秋山ほか 1996)

ヘリグロリンゴカミキリ *Nupserha marginella* (BATES) 図版2-E

県内の記録は多い。草原や林縁のカミキリで、成虫はキク科の草本の葉を線状に食べる。八幡地区〔1個体, 1996年7月1日〕, 八幡地区〔1個体, 1996年7月4日〕, 雄鹿原地区〔2個体, 1996年7月7日〕, 滝の平牧場〔1個体, 1997年6月14日, 杉山採〕, 雲月山〔1個体, 1995年6月25日, 田上採〕, 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988; 秋山ほか 1996)

ヒメリンゴカミキリ *Oberea hebescens* BATES 図版3-E

県内の分布は沿岸部から中国山地までかなり広い。成虫はクロモジやアブラチャンなどの葉の主脈を線状に食べる。成虫の食痕は芸北町内でもよく見かける。中野地区〔1個体, 1996年7月1日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年6月14日, 杉山採〕, 掛頭山 (中村ほか 1988), 臥竜山 (中村ほか 1988; 小阪 1988)

リンゴカミキリ *O. japonica* (THUNBERG)

県内の分布は広い。ソメイヨシノを好むようで市街地の公園や民家の庭等でよく見かける。芸北町のような自然林の多い地域では稀である。掛頭山〔1個体, 1996年6月16日, 杉山探〕, 臥竜山 (中村ほか 1988)

ニセリンゴカミキリ *O. mixta* BATES

成虫・幼虫の両方ともスイカズラを食草としており, 県内に広く分布しているが記録は多くない。千町原のスイカツラの葉の主脈に成虫の食痕が見られた。掛頭山 (中村ほか 1988)

ホソキリンゴカミキリ *O. infranigrescens* BREUNING 図版5-N

島しょ部から中国山地まで県内広くに分布しており, 芸北町内にも1例の記録がある。成虫はハギやケヤマハンノキの葉脈を線状に食べる。八幡地区〔1個体, 1991年6月12日〕, 千町原〔1個体, 1997年7月5日, 矢野探〕, 芸北町 (中村ほか 1988)

ルリカミキリ *Bacchisa fortunei japonica* (GAHAN) 図版2-G

ベニカナメなどの庭木を食害するために, 県内では住宅地に分布を拡げている。芸北ではカマツカヤズミなどを食樹としていると思われる。八幡地区〔1個体, 1991年6月18日〕, 臥竜山〔1個体, 1997年7月5日, 矢野探〕, 臥竜山 (中村ほか 1988)

以上162種以外に, 標本が散逸しデータを確認できなかったもの, 成虫の後食痕は確認できたが, 成虫を確認できなかったものがそれぞれ1種ある。

ゴイシモモブトカミキリは深山で採集しているが, 標本が散逸し, 採集データの確認ができなかった。

ソボリンゴカミキリは, 二川キャンプ場のコバノミツバツツジの細枝や葉の主脈に成虫の食痕を確認したが, 得ることができなかった。

摘 要

- 1 宮川は1991年から, 矢野は1997年から芸北町内でカミキリムシ類の生息分布調査を行った。調査結果や文献記録から, 芸北町にホソカミキリムシ科1種, カミキリムシ科161種が分布していることが分かった。
- 2 広島県内で, 芸北町にのみ記録のあるシロオビトラカミキリ, ヒメビロウドカミキリについて今回の調査で生息を確認することはできなかった。
- 3 芸北町に気候や植生の似ている戸河内町, 吉和村と比較した。戸河内町では181種, 吉和村では211種が記録されているが, 芸北町での分布が確認されたカミキリムシ類は162種にすぎない。町内のほぼ全域が高原状で深い渓谷がないという, 地理的に多様性を欠くことがカミキリムシ類の生息分布に影響していると思われる。
- 4 芸北町に隣接する広島県内の3町からは, 芸北町未記録種が50種報告されており, 今だに調査は十分とはいえない。今後の調査で多くの種が追加されることを期待している。

参 考 文 献

- 赤木克己 1982 広島県産カミキリムシ数種の採集記録 広島虫の会会報 21:27-28
——— 1986 標本箱の中から(1) 広島虫の会会報 25:16
——— 1987 オオヒメハナカミキリのS紋消失型を臥竜山で採集 広島虫の会会報 26:37
——— 1990 標本箱の中から(3) 広島虫の会会報 29:43-45
——— 1993 標本箱の中から(4) 広島虫の会会報 32:42
———・岩本道彦 1984 広島県産カミキリムシ19種 広島虫の会会報 22:9-11
- 秋山美文 1995 広島県産甲虫の分布記録(3) 比和科博研報 33:163-176
———・山崎考善・浜田展也 1996 広島県産カミキリムシ目録 比婆科学 172:1-82
- 岩本道彦 1989 カミキリムシ2種の新産地 広島虫の会会報 28:28
———・角島幸二・小阪敏和 1978 広島県のカミキリムシ追加種 追加記録, 新産地(3), 広島虫の会会報 17:13-15
- 大林延夫・佐藤正孝・小島圭三 1992 日本産カミキリムシ検索図説 696pp. 東海大学出版会
- 香川英夫 1988 今年の採集から, すかしば 30:53
- 角島幸二・岩本道彦 1975 広島県産カミキリムシ12種 広島虫の会会報 14:13-14
- 小阪敏和 1988 広島県産甲虫ノート(11) 広島虫の会会報 27:37-42
——— 1989 広島県産甲虫ノート(12) 広島虫の会会報 28:19-24
——— 1990 広島県産甲虫ノート(13) 広島虫の会会報 29:35-42
——— 1994 広島県産甲虫ノート(14) 広島虫の会会報 33:11-15
——— 1996 臥竜山のカミキリムシ 追加種(3) 広島虫の会会報 35:43
———・岩本道彦・角島幸二 1976 広島県のカミキリムシ追加種 追加記録及び新産地(1), 広島虫の会会報 15:17-20
- 小島圭三・林 匡夫 1969 原色日本昆虫生態図鑑1カミキリ編 302pp. 保育社
- 佐藤月二・水岡繁登・後藤孝彦 1966 西中国山地の動物 西中国山地国定公園候補地学術調査報告: 89-133 島根県・広島県
- 田上雅生 1995 カミキリムシの分布記録 広島虫の会会報 34:43-46
- 中崎清隆・角島幸二・小阪敏和 1980 広島県のカミキリムシ追加種 追加記録及び新産地, 広島虫の会会報 19:11-14
———・赤木克己・岩本道彦・角島幸二 1984 広島県産カミキリムシ20種 広島虫の会会報 23:21-24
———・岩本道彦 1990 広島県産カミキリムシ10種 広島虫の会会報 29:47-48
- 中村慎吾・小阪敏和 1970 広島県産のカミキリムシ 比和科博研報 13:5-16
———・———・矢野立志 1988 広島県産のカミキリムシ 比和科博研報 26:5-67
- 晴山省吾・佐藤月二・後藤孝彦 1959 三段峡・八幡高原の昆虫目録 三段峡と八幡高原総合学術調査研究報告:336-344 広島県教育委員会
- 宮川和夫 1961 山県郡産のカミキリムシ 比婆科学 58:22-24
——— 1964 芸北地方の注目すべき昆虫 広島虫の会会報 3:11-12
——— 1967 ヨコヤマヒゲナガカミキリ スギ板を後食 広島虫の会会報 6:33
——— 1993 芸北町の昆虫 芸北町自然学術調査報告書(2):120-146 芸北町教育委員会
——— 1994 芸北町の昆虫 芸北町自然学術調査報告書(3):160-193 芸北町教育委員会

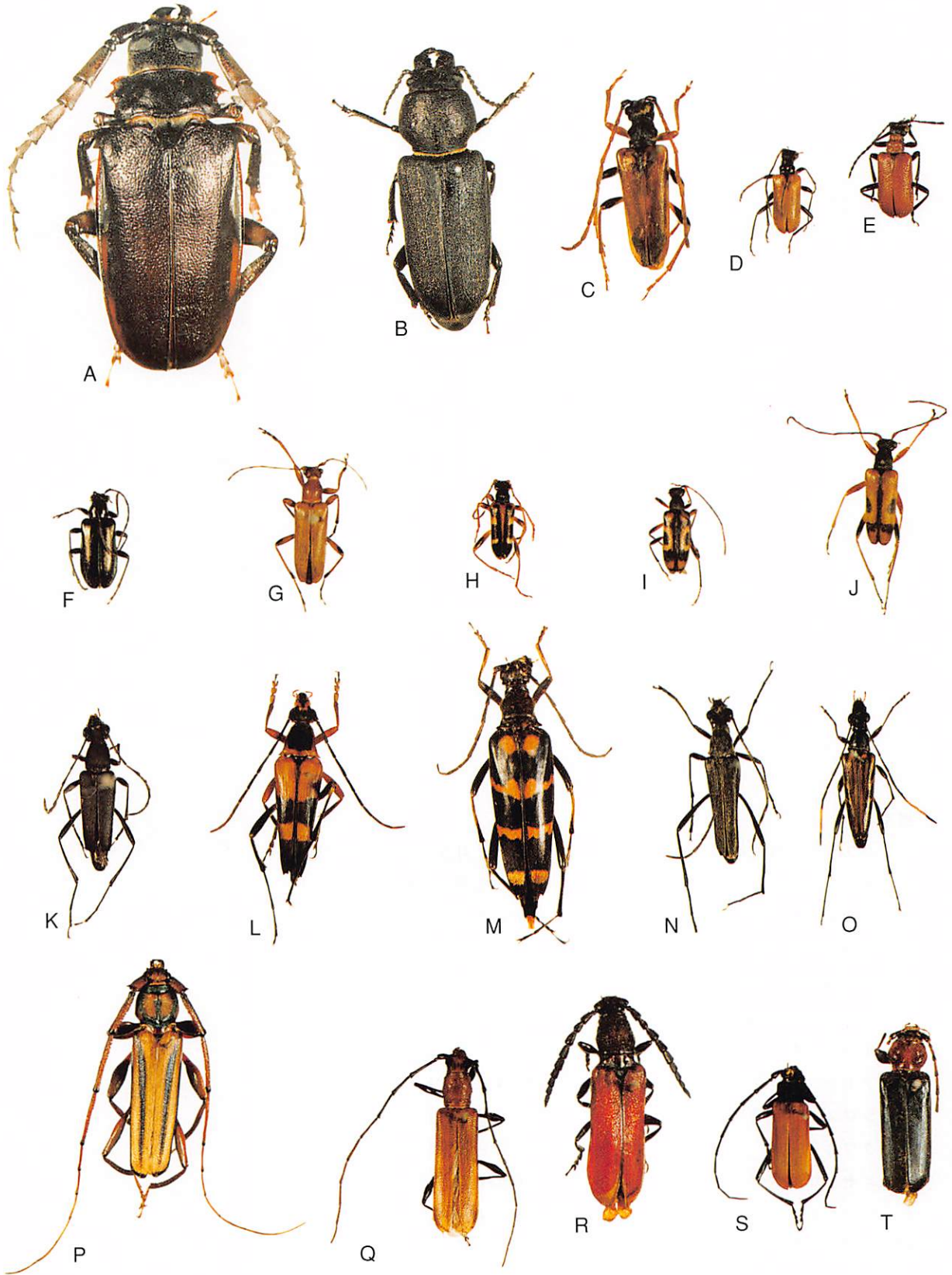
1998年8月13日受付; 1998年11月12日受理

図版 1

標本写真

A：ノコギリカミキリ	1993年 8 月12日採集	中野地区
B：クロカミキリ	1993年 8 月12日採集	中野地区
C：モモグロハナカミキリ	1992年 6 月 3 日採集	雄鹿原地区
D：キバネニセハムシハナカミキリ	1992年 6 月 3 日採集	雄鹿原地区
E：アカイロニセハムシハナカミキリ	1995年 5 月11日採集	美和地区
F：ヒナルリハナカミキリ	1995年 5 月11日採集	美和地区
G：チャイロヒメハナカミキリ	1994年 6 月 9 日採集	八幡地区
H：フタオビヒメハナカミキリ	1992年 5 月22日採集	八幡地区
I：ニセヨコモヒメハナカミキリ	1992年 6 月24日採集	八幡地区
J：ニセヨコモヒメハナカミキリ	1992年 6 月24日採集	八幡地区
K：ツヤケシハナカミキリ	1993年 7 月 9 日採集	八幡地区
L：フタスジハナカミキリ	1991年 8 月 4 日採集	雄鹿原地区
M：オオヨツスジハナカミキリ	1991年 7 月21日採集	中野地区
N：アオバホソハナカミキリ	1993年 7 月 9 日採集	八幡地区
O：ニンフハナカミキリ	1991年 8 月 4 日採集	雄鹿原地区
P：アオスジカミキリ	1992年 7 月23日採集	美和地区
Q：トビイロカミキリ	1992年 8 月 3 日採集	雄鹿原地区
R：クスベニカミキリ	1996年 7 月 4 日採集	雄鹿原地区
S：ベニカミキリ	1992年 6 月 9 日採集	美和地区
T：チャイロホソヒラタカミキリ	1991年 7 月 4 日採集	美和地区

图版 1



図版 2

標本写真

A : キスジトラカミキリ	1992年 7 月26日採集	中野地区
B : キンケトラカミキリ	1992年 5 月19日採集	八幡地区
C : シロトラカミキリ	1992年 5 月19日採集	八幡地区
D : トゲヒゲトラカミキリ	1994年 6 月 9 日採集	八幡地区
E : ヘリグロリングカミキリ	1996年 7 月 1 日採集	八幡地区
F : ヨツキボシカミキリ	1996年 7 月29日採集	中野地区
G : ルリカミキリ	1991年 6 月18日採集	八幡地区
H : アトモンマルケシカミキリ	1991年 7 月20日採集	八幡地区
I : シロスジカミキリ	1993年 8 月13日採集	八幡地区
J : クワカミキリ	1993年 9 月 5 日採集	八幡地区
K : ニセビロウドカミキリ	1991年 7 月13日採集	中野地区
L : エゾサビカミキリ	1991年 7 月21日採集	中野地区
M : シロオビチビカミキリ	1991年 8 月 4 日採集	中野地区
N : アトジロサビカミキリ	1991年 8 月 4 日採集	中野地区

图版 2



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J



K



L



M



N

図版 3

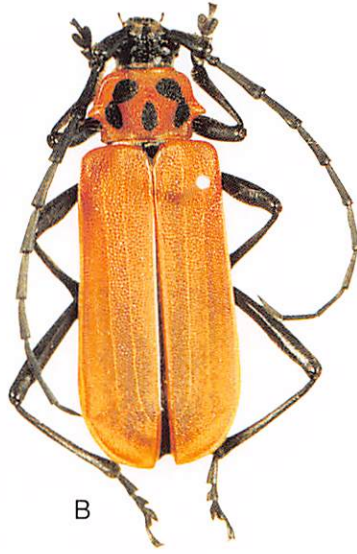
標本写真

A：ツシマムナクボカミキリ	1992年7月23日採集	中野地区
B：ベニカミキリ	1992年6月9日採集	美和地区
C：ヤハズカミキリ	1992年6月24日採集	美和地区
D：ニセシラホシカミキリ	1991年7月4日採集	美和地区
E：ヒメリンゴカミキリ	1996年7月1日採集	中野地区
F：トガリシロオビサビカミキリ	1992年7月23日採集	美和地区
G：ウスイロトラカミキリ	1991年7月14日採集	中野地区
H：ムネアカクロハナカミキリ	1992年6月3日採集	雄鹿原地区
I：セスジヒメハナカミキリ	1992年6月3日採集	雄鹿原地区
J：クワサビカミキリ	1991年8月4日採集	中野地区
K：ホタルカミキリ	1992年6月9日採集	美和地区

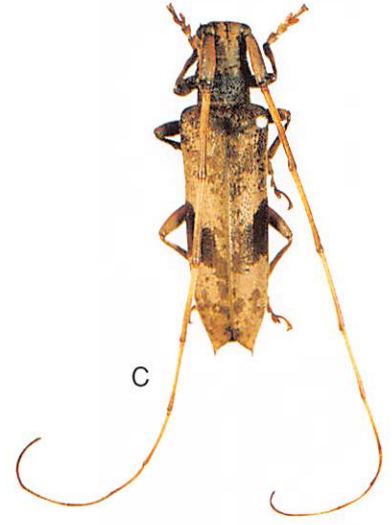
图版 3



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J



K

図版 4

生態写真

A：ウスバカミキリ	1995年8月2日撮影	八幡地区
B：フタコブルリハナカミキリ	1990年7月6日撮影	雄鹿原地区
C：ナガバヒメハナカミキリ	1992年5月22日撮影	八幡地区
D：セスジヒメハナカミキリ	1992年5月22日撮影	八幡地区
E：アカハナカミキリ	1988年8月2日撮影	八幡地区
F：ムネアカクロハナカミキリ	1992年6月3日撮影	雄鹿原地区
G：ツマグロハナカミキリ	1992年5月5日撮影	町外
H：ベニカミキリ	1992年6月9日撮影	美和地区
I：ヨツスジハナカミキリ	1991年7月21日撮影	八幡地区
J：ホタルカミキリ	1992年6月9日撮影	美和地区
K：ルリボシカミキリ	1992年8月6日撮影	中野地区
L：ヨツスジハナカミキリ	1990年7月19日撮影	美和地区
M：ニイジマトラカミキリ	1991年7月21日撮影	中野地区
N：ニイジマトラカミキリ	1991年7月30日撮影	中野地区
O：ウスイロトラカミキリ	1991年7月30日撮影	中野地区
P：エグリトラカミキリ	1991年7月30日撮影	中野地区
Q：ゴマフカミキリ	1992年7月21日撮影	中野地区

图版 4

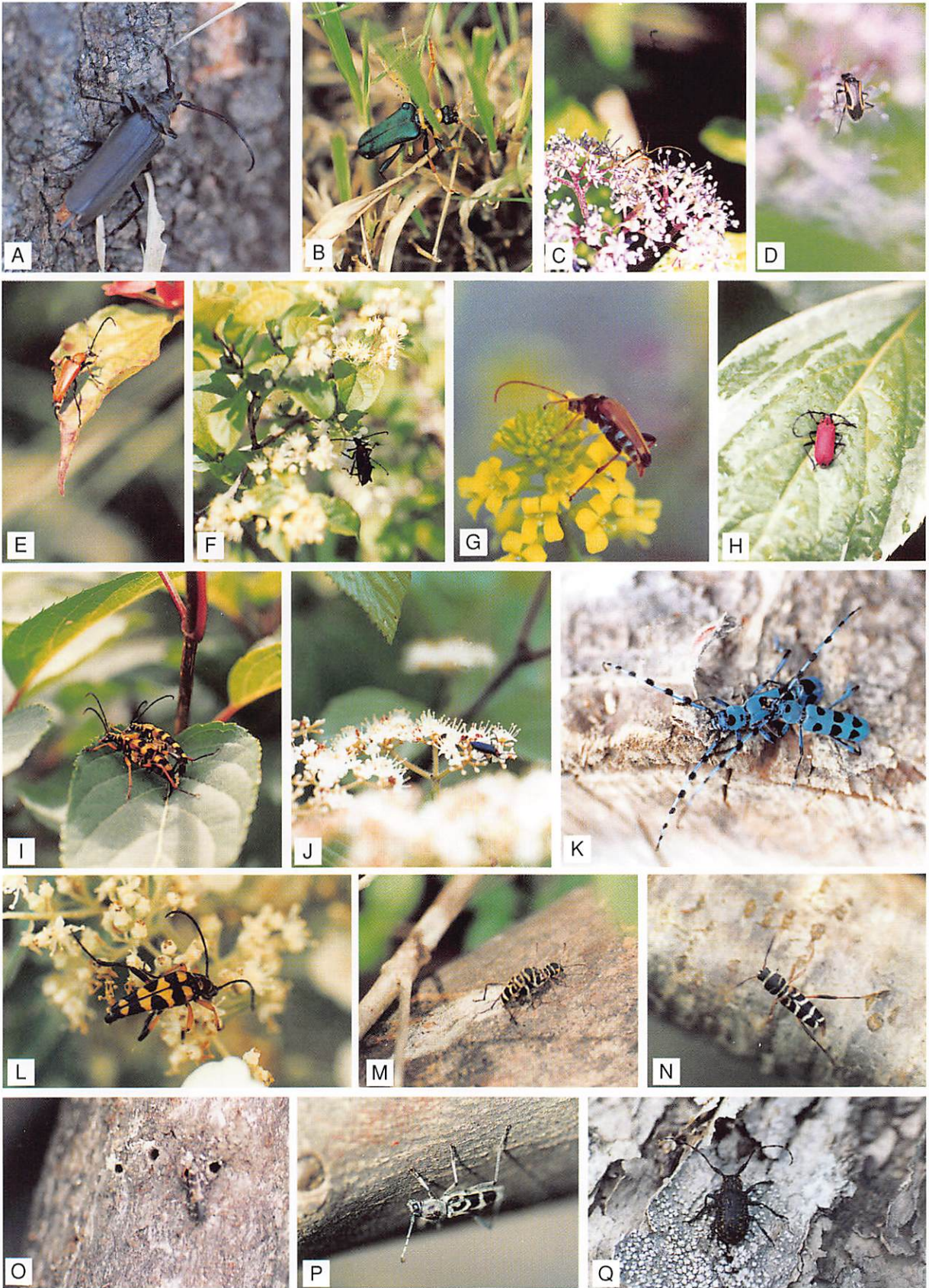


図 版 5

生態写真

A : カタシロゴマフカミキリ	1991年 8 月 4 日撮影	中野地区
B : ナガゴマフカミキリ	1991年 7 月30日撮影	中野地区
C : キクスイモドキカミキリ	1995年 5 月27日撮影	美和地区
D : トガリシロオビサビカミキリ	1991年 7 月13日撮影	中野地区
E : クワサビカミキリ	1991年 7 月30日撮影	中野地区
F : ヒメヒゲナガカミキリ	1996年 6 月 4 日撮影	美和地区
G : ゴマダラカミキリ	1991年 7 月11日撮影	中野地区
H : ヤハズカミキリ	1992年 6 月24日撮影	美和地区
I : ニセシラホシカミキリ	1991年 7 月13日撮影	中野地区
J : ラミーカミキリ	1989年 6 月20日撮影	雄鹿原地区
K : シラホシカミキリ	1992年 6 月29日撮影	雄鹿原地区
L : ヒゲナガゴマフカミキリ	1990年 7 月11日撮影	八幡地区
M : キクスイカミキリ	1990年 5 月13日撮影	町 外
N : ホソキリンゴカミキリ	1994年 6 月12日撮影	八幡地区

